



## 2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月15日

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所 東  
 コード番号 8254 URL https://www.saikaya.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 井出 陽一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 村田 功治 (TEL) 046 (845) 6803  
 四半期報告書提出予定日 2021年10月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	6,572	0.8	△218	—	△318	—	△321	—
2021年2月期第2四半期	6,521	△28.9	△439	—	△466	—	△531	—

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 △369百万円(—%) 2021年2月期第2四半期 △536百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	△73.93	—
2021年2月期第2四半期	△170.23	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	11,701	646	5.5
2021年2月期	11,213	514	4.6

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 646百万円 2021年2月期 514百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	—	—	0.00	0.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	86.7	△480	—	△600	—	△604	—	△129.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期2Q	4,970,314株	2021年2月期	3,135,314株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	15,847株	2021年2月期	15,763株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期2Q	4,342,854株	2021年2月期2Q	3,119,777株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの症例予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9
3. その他	10
(継続企業の前提に関する重要事象等)	10
4. 補足情報	11
(1) 連結売上高の内訳	11
(2) 店別売上高(単体)	11
(3) 商品別売上高(単体)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年8月31日)のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続いています。先行きについても新型コロナウイルスワクチン接種などの感染拡大防止策による経済の改善が期待されますが、新型コロナウイルス感染症の再拡大による内外経済に与える下振れリスクに充分注視する必要があります。

百貨店業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の全国的な再拡大による各地域への緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用、天候不順などによる集客減の影響から厳しい状況が継続しております。

当社におきましては、新型コロナウイルス感染症対策に努め、お客様、従業員の「安心・安全」の確保に配慮してまいりました。このような状況の中、ニューノーマル生活におけるスタイルの変化に対応すべく、企業ビジョン「いつ行っても欲しいものがあり、いつ行っても気持ちよく買い物ができ、また行ってみたいと思っただけの百貨店」の実現に向け、全社を挙げて取り組んでまいりました。

営業面におきましては、店頭ではコロナ禍における絆消費、日頃会えない方へのギフト需要増により中元商戦が健闘、巣ごもり需要による食品をはじめとした関連商品も引き続き堅調に推移しました。さらに、ECサイトにおきましても巣ごもり需要の高まりに対応し、取扱い商材を拡大したこともあり、前年を超える売上高となりました。横須賀店では、2021年5月17日よりスタートしたコロナワクチン接種会場(5階・6階フロア)の開設による入店客数増が継続、ワクチン接種を受けられた方限定の特別サービスが好評を得ています。

しかしながら、2021年4月20日から継続しているまん延防止等重点措置適用や、2021年8月2日の緊急事態宣言再発出による外出自粛傾向の高まりといった新型コロナウイルス感染症再拡大の影響に加え、天候不順による入店客数減が影響し、第2四半期の累計期間売上高は全店舗で計画を下回る結果となりました。

一方、費用面においてはローコストオペレーションを推進させ各種経費の削減に努めるとともに、効果的な経費運用に引き続き取り組みました。更に前年度に実施した希望退職に伴う人件費の減少も加わり、販売費および一般管理費の合計は、前年同四半期比88.8%となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は6,572百万円(前年同四半期と比べ50百万円の増収)、営業損失218百万円(前年同四半期は営業損失439百万円)、経常損失318百万円(前年同四半期は経常損失466百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失321百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失531百万円)となりました。

なお、2021年6月24日開示の「親会社からの資金の借入等に関するお知らせ」のとおり、今後の売上拡大に必要な成長資金および運転資金の確保と強固な財務基盤を構築することを目的に、親会社である株式会社AFC-HDアムスライフサイエンスと金銭消費貸借契約を締結し8,000百万円の借入を行いました。これにより既存銀行借入金を全額返済、また、借入金利の低下により年間支払利息についても100百万円程度の削減を見込んでおります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態に関しましては、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に増資等による現預金の増加により、前連結会計年度末に比べ487百万円増加し11,701百万円となりました。

負債は主に長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ355百万円増加し11,055百万円となりました。

純資産は主に資本剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ131百万円増加し646百万円となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ672百万円増加し1,534百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,006百万円の支出（前年同期比353百万円の支出の増加）となりました。主な増加項目は、減価償却費172百万円等であり、主な減少項目は、税金等調整前四半期純損失318百万円および仕入債務の減少額417百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、147百万円の支出（前年同期比92百万円の支出の増加）となりました。主な減少項目は、有形固定資産の取得による支出93百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,826百万円の収入（前年同期比779百万円の収入の増加）となりました。主な増加項目は長期借入れによる収入8,000百万円等であり、主な減少項目は、短期借入金の純減少額1,590百万円および長期借入金の返済による支出5,081百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、2021年7月15日に公表いたしました2022年2月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2021年8月26日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	861,791	1,534,594
売掛金	484,617	322,965
商品	383,180	428,431
貯蔵品	35,796	37,630
その他	181,056	178,650
流動資産合計	1,946,442	2,502,271
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,129,948	3,068,772
土地	4,563,475	4,563,475
リース資産(純額)	16,630	14,280
その他(純額)	31,549	32,660
有形固定資産合計	7,741,604	7,679,189
無形固定資産		
その他	7,960	18,481
無形固定資産合計	7,960	18,481
投資その他の資産		
投資有価証券	316,734	259,107
敷金及び保証金	944,357	939,015
破産更生債権等	12,630	12,596
長期前払費用	194,250	240,999
その他	61,970	61,970
貸倒引当金	△12,150	△12,280
投資その他の資産合計	1,517,793	1,501,409
固定資産合計	9,267,358	9,199,079
資産合計	11,213,800	11,701,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	25,869	17,257
買掛金	1,327,592	918,858
短期借入金	1,590,000	—
1年内返済予定の長期借入金	67,305	—
未払法人税等	6,766	12,034
商品券	548,073	555,410
賞与引当金	12,977	13,726
商品券回収損引当金	627,644	633,609
ポイント引当金	27,863	32,896
事業構造改善引当金	60,528	—
その他	739,397	321,654
流動負債合計	5,034,016	2,505,448
固定負債		
長期借入金	5,044,465	8,030,000
繰延税金負債	9,398	—
退職給付に係る負債	385,184	293,620
資産除去債務	161,471	162,613
リース債務	13,669	11,762
その他	51,007	51,674
固定負債合計	5,665,196	8,549,670
負債合計	10,699,212	11,055,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,945,290	2,195,768
資本剰余金	1,637,078	1,887,556
利益剰余金	△3,045,913	△3,366,963
自己株式	△43,183	△43,219
株主資本合計	493,272	673,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,315	△26,910
その他の包括利益累計額合計	21,315	△26,910
純資産合計	514,588	646,231
負債純資産合計	11,213,800	11,701,350

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
売上高	6,521,399	6,572,139
売上原価	5,208,646	5,234,534
売上総利益	1,312,752	1,337,604
販売費及び一般管理費	1,752,258	1,555,675
営業損失(△)	△439,506	△218,070
営業外収益		
受取利息	46	50
受取配当金	2,733	1,548
商品券等整理益	—	2,620
雇用調整助成金	32,708	—
その他	5,851	1,549
営業外収益合計	41,339	5,769
営業外費用		
支払利息	65,131	53,515
資金調達費用	—	26,961
株式交付費	—	19,316
その他	3,116	5,910
営業外費用合計	68,248	105,703
経常損失(△)	△466,414	△318,005
特別損失		
投資有価証券評価損	5,108	—
事業構造改善費用	56,643	—
特別損失合計	61,752	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△528,167	△318,005
法人税、住民税及び事業税	2,897	3,044
法人税等合計	2,897	3,044
四半期純損失(△)	△531,065	△321,049
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△531,065	△321,049



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
四半期純損失(△)	△531,065	△321,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,235	△48,225
その他の包括利益合計	△5,235	△48,225
四半期包括利益	△536,300	△369,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△536,300	△369,275
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△528,167	△318,005
減価償却費	184,884	172,491
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	130
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,590	749
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,931	△91,564
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	363	5,965
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,919	5,033
受取利息及び受取配当金	△2,779	△1,598
支払利息	65,131	53,515
投資有価証券評価損益(△は益)	5,108	—
事業構造改善費用	56,643	—
売上債権の増減額(△は増加)	107,630	161,651
たな卸資産の増減額(△は増加)	46,708	△47,084
仕入債務の増減額(△は減少)	△221,127	△417,344
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,708	△35,043
未払費用の増減額(△は減少)	△37,921	△150,085
商品券の増減額(△は減少)	△18,458	7,336
その他	△246,480	△246,030
小計	△581,366	△899,883
利息及び配当金の受取額	2,778	1,597
利息の支払額	△68,625	△41,803
事業構造改善支出	—	△60,528
法人税等の支払額	△5,616	△5,662
法人税等の還付額	673	224
営業活動によるキャッシュ・フロー	△652,158	△1,006,055
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△21,242	△93,156
無形固定資産の取得による支出	—	△12,710
投資有価証券の取得による支出	△534	—
貸付けによる支出	—	△240
貸付金の回収による収入	350	310
差入保証金の差入による支出	△39,100	△47,900
差入保証金の回収による収入	52,054	53,241
長期前払費用の取得による支出	△46,747	△46,747
その他	—	△437
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,220	△147,640
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,165,000	△1,590,000
長期借入れによる収入	30,000	8,000,000
長期借入金の返済による支出	△141,840	△5,081,770
株式の発行による収入	—	500,955
リース債務の返済による支出	△5,854	△2,650
その他	△73	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,047,231	1,826,499
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	339,853	672,803
現金及び現金同等物の期首残高	681,769	861,791
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,021,623	1,534,594

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年5月26日付で、株式会社AFC-HDアムスライフサイエンスから第三者割当増資500百万円の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ250百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,195百万円、資本準備金が1,219百万円となっております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等に関する会計上の見積り

2022年2月期第2四半期におきましては、業績予想を2度修正するなど、コロナ環境下において非常に厳しい状況が続いております。1度目の修正では「当初新型コロナウイルスワクチン接種の進展等による個人消費マインドの改善が進むことを見込み、入店客数が新型コロナウイルス感染症拡大前の9割程度まで回復する」と想定しておりましたが、「ワクチン接種時期の遅れに加え、まん延防止等重点措置の適用や外出自粛等といった新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、さらに1割程度落ち込む見通し」をたて修正を行いました。さらにその後、神奈川県においては8月2日に新型コロナウイルス緊急事態宣言が発出され、その時点で解除の見込が全くたたない状況から、さらに入店客数が1割弱落ち込むことを想定、2度目の修正を行いました。

上記のような状況から、新型コロナウイルス感染症の影響は当年度末まで続く見込んでおります。しかしながら、予防接種の進展、治療薬の特例承認が相次いで発表されるなど新型コロナウイルス感染症の影響が徐々になくなるとを予想、2022年度以降には売上高が回復すると仮定しております。

このため、固定資産に関する減損損失および継続企業の前提に係る将来の資金繰りの検討においては、上記の仮定に基づいて将来キャッシュ・フローの見積りを行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

当社グループは、前連結会計年度におきまして、営業損失639百万円を計上し、現在5期連続して営業損失を計上している状況にあり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。

これらを解消し業績回復を実現するため「(1)経営成績に関する説明、(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載の通り、巣ごもり需要、絆消費、日頃会えない方へのギフト促進、ECサイト商材拡大対応等、コロナ禍環境下でのお客様の消費嗜好にマッチした最適なサービスを実施、他方、横須賀店コロナワクチン接種会場へのご来場者に特別サービスを展開するなど、売上拡大に向けた取り組みを行っております。また前年度実施した希望退職による人件費削減効果がキャッシュ・フローに寄与しているなか、第1四半期に引き続き外注費の抑制等の経費削減に継続的に取り組むことで、営業キャッシュ・フローの更なる改善に努めてまいります。

上記に加え、2021年5月度に実施した、株式会社AFC-HDアムスライフサイエンスを引受先とする第三者割当増資(500百万円)、2021年6月30日に親会社である株式会社AFC-HDアムスライフサイエンスからの借入により手元資金が514百万円増加したこと等を踏まえ、資金繰りに懸念はないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

## 4. 補足情報

## (1) 連結売上高の内訳

	前第2四半期 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)		当第2四半期 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	6,518,482	97.4	6,564,571	96.6	46,088	100.7%
アルファトレンド㈱	167,150	2.5	228,694	3.4	61,544	136.8%
㈱さいか屋友の会	6,700	0.1	3,487	0.1	△3,212	52.1%
小計	6,692,333	100.0	6,796,754	100.0	104,420	101.6%
内部売上高の消去	△170,934	—	△224,615	—	△53,680	—
合計	6,521,399	—	6,572,139	—	50,740	100.8%

## (2) 店別売上高(単体)

	前第2四半期 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)		当第2四半期 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
藤沢店	3,516,981	55.9	4,031,580	63.6	515,598	114.6
横須賀店	2,387,896	37.9	1,905,866	30.1	△482,030	79.8
川崎店	392,068	6.2	401,110	6.3	9,041	102.3
小計	6,296,946	100.0	6,338,557	100.0	41,610	100.7
テナント及び手数料収入	221,536	—	226,014	—	4,478	102.0%
合計	6,518,482	—	6,564,571	—	46,088	100.7%

## (3) 商品別売上高(単体)

	前第2四半期 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)		当第2四半期 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)		前年対比・増減	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
衣料品	1,476,871	23.5	1,517,233	23.9%	40,362	102.7%
身回品	508,504	8.1	553,618	8.7%	45,114	108.9%
雑貨	810,069	12.9	930,984	14.7%	120,915	114.9%
家庭用品	160,173	2.5	140,496	2.2%	△19,677	87.7%
食料品	3,059,941	48.6	2,817,413	44.4%	△242,528	92.1%
食堂・喫茶	108,752	1.7	121,420	1.9%	12,668	111.6%
その他	172,636	2.7	257,393	4.1%	84,757	149.1%
合計	6,296,946	100.0	6,338,557	100.0	41,611	100.7%